

「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 東京工業大学

目的

長期目標： **2030年に世界のトップ10の研究ユニバーシティへ**

＜研究力強化の方針＞ 「国際共同研究の促進」「国際的な研究環境整備」 に集中的に取り組む
あわせて、「強い分野をより強く」「次世代融合分野の育成」「基礎的・基盤的分野の充実」 に取り組む

これまでの実績・進捗状況

【国際共同研究推進】

- 教員の海外派遣，海外研究者招へい
→国際共著論文比率の向上(27.4%→30.8%)

【国際的な研究環境整備】

- 外国人研究者のための研究環境整備・支援
→外国人教員比率の向上(4.3%→7.9%)
- 国際研究広報の強化
→英文プレスリリース10倍増

【強い分野を伸ばす】

- WPI拠点「地球生命研究所」(ELSI)，元素戦略研究拠点，COI拠点を育成支援

【人事・人事制度改革】

- 年俸制，クロスアポイントメント制度を導入(H26.10)
- 大学全体の人事戦略策定を行う人事委員会を設置し，教員ポストの全学管理を実現(H27.4)
- URAを増員(H25年度9名→H29.6.1現在28名)

【研究の質の向上】

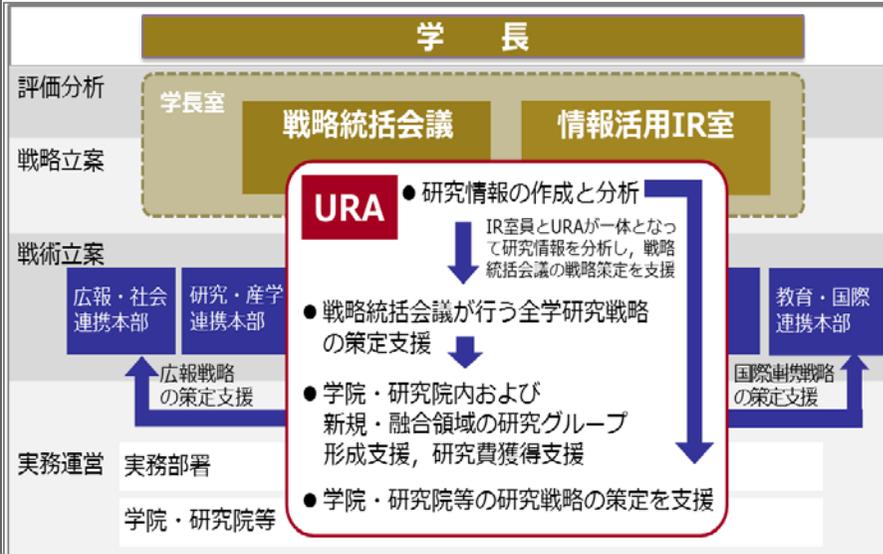
- TOP10%論文の割合(Q値)が低下傾向
→研究改革・人事制度改革を実行，WRHIの設置(H28.4)

【研究組織改革】

- 学部と大学院を統一した6つの学院を設置(H28.4)
- 4つの附置研等を統合改組，科学技術創成研究院を設置，研究ユニットを新設(H28.4)
- 学長主宰の戦略統括会議を設置し，その下に研究・産学連携本部を設置してURAを集約・強化(H29.4)

今後5年間の将来構想

● 戦略統括会議，情報活用IR室とURAとの連携による総合的な研究力強化



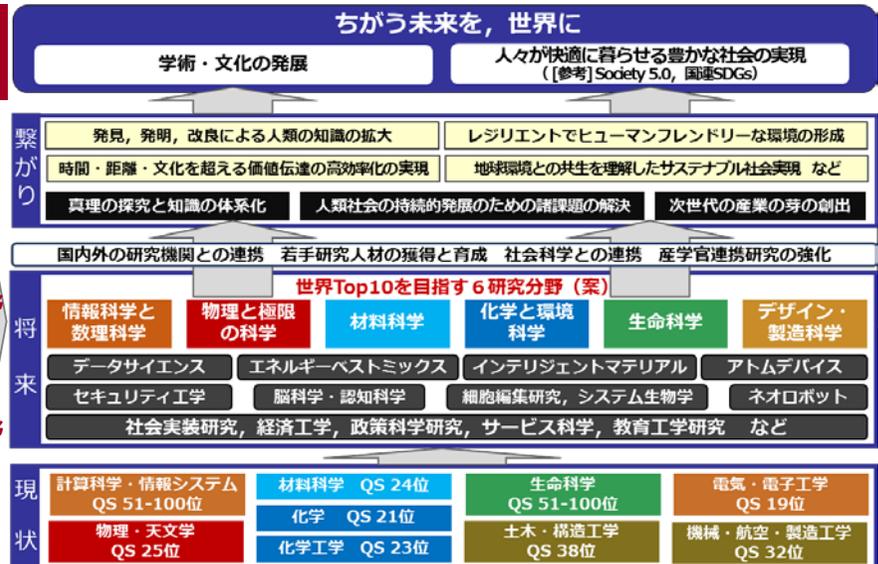
URAの強い支援

社会との連携構築

融合研究分野の創出

強い研究分野の把握

● 社会の期待からバックキャストして新研究分野を創成



ポストアワード支援

プレアワード支援

トップ10%論文を15%以上など，目標値の達成